

特別支援教育 理論研修会 終了報告

テーマ	「身体の気づきから始める言語活動支援・指導の実際」	
日時	平成28年 7月 27日(水)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	<p>瀧澤 聡 氏 (北海道北翔大学 准教授)</p>	
参加者	64名	
研修会 の 様子		<p>北海道北翔大学准教授の瀧澤聡氏をお迎えし、「身体の気づきから始める言語活動支援・指導の実際」というテーマで、講演いただきました。障がい児部会や言語部門所属者だけでなく、他の部会の方の参加も多く、このテーマへの関心が高いことがわかりました。</p>
		<p>シェルボーン・ムーブメントという運動療法をどうして行うようになったかをお話されながら、シェルボーン・ムーブメントの理論について説明をしていきました。瀧澤氏の実践を通して、具体的なお話が進んでいきました。</p>
		<p>瀧澤氏が研究された論文を通して、その臨床経過をたくさんのスライドで詳しく教えていただきました。読み書き、計算は、運動機能ともつながっており、とても大切な要素を含んでいることがよく理解できました。</p>
		<p>後半はシェルボーン・ムーブメントを実際に指導している実践についてのお話でした。動画をみながら、その子にどのような指導をしているのかその様子をみながら、教えていただきました。</p>
		<p>子どもの身体状況を、私たち大人が気づくことが必要であること、そのためにがしっかりと観察できる力をつけることが必要であること、など、大切なことをたくさん教えていただきました。とても有意義な研修となりました。</p>